2007
沖縄県南風原町勢要覧

南風原町

Official Guide to Haebaru Town

ヒーローが生まれる町



黄金南風の平和郷・はえばる。

風土と歴史、協調性と団結力が、今も受け継がれている町。

わがまち南風原町は、東経127度43分、北緯26度11分の沖縄本島南部のほぼ中央に位置し、県都那覇市に隣接しています。周りを６つの市町村に囲まれ、県内では唯一の海に面していない町です。面積は10.72平方キロメートル。県内41市町村の中で4番目に小さな町です。

王府時代には、真和志間切、西原間切とともに首里三平等のひとつとして直轄地に組み込まれていました。直轄領として厳しく賦課・統括されていた当時、村々の統廃合や王府財政の貧弱時に行われた各種統制などをまともに受けることになりました。

こうした厳しい統治下にあって、人々は共同作業で苦しい年貢制度を切り抜けてきた歴史を持ち、それは協調精神と団結心として今日も町民に受け継がれています。現在の南風原町の境界は、明治41(1908)年の特別町村制の施行により定まり、11字からなる南風原村が形成されました。

今次大戦で焦土と化した南風原村も、昭和21(1946)年に村役場の再編とともに復興の第一歩が始まり、畜産を中心とした農業、織物などの生産が村の発展の原動力となり、近年は那覇市に隣接する地の利を得て、工業や企業の進出により着実に発展を続けてきました。

昭和55年(1980年)には16行政区をもって町政への移行を成し遂げ、平成19年現在では19行政区となっています。

「平和」「自立」「共生」

昭和46年4月18日制定

町章 *Town Emblem*

町名の頭文字「は」を以て鳥の雄飛するイメージに図案化し、町の平和と融和団結、さらに協力を表現し、併せて産業文化の躍進伸張を単純明快に象徴した町章です。また「波頭」をあしらって悠久に流れる国場川を意図しています。

Designed on the "ha" of Haebaru, inspired by birds embarking on a trip, the town's emblem is a simple and explicit symbol of peace and harmonious solidarity, a representation of global cooperation and the rapid advance and expansion of industrialization. The emblem also intends to represent the crest of the eternally flowing Kokuba River.

A town rich in natural features and history that inherited the spirit of solidarity

Haebaru Town, situated at a longitude of 127 degrees, 43 minutes East and a latitude of 35 degrees, 40 minutes North, is almost the center of the southern part of the main island of Okinawa Prefecture and is adjacent to Naha City, the prefecture's capital. With a land area of 10.72 km², Haebaru is the sixth smallest town within the 52 municipalities that make up the prefecture.

At the time of the Ryukyu Dynasty, Haebaru was under the direct control of Shuri along with the districts of Mawashi and Nishihara, pursuant to Shuri Sanbyodo policy. Despite being under strict rule, locals found their way out of this strenuous situation by working together; this spirit of cooperation is still alive in the hearts of Haebaru residents.

In 1908, Haebaru was established as a village with 11 sections. In 1946, along with Haebaru Village Hall restoration, the products of an agriculture based mainly on livestock along with textile manufacturing contributed to the village's redevelopment. In recent years, many companies arose, leading to the steady growth of the area.

In 1980, with 16 town sections, Haebaru's status changed from village to town, later implementing policies aiming at becoming a garden city. Haebaru presently numbers 19 town sections.



CONTENTS【目次】

わった～みんなヒーローズ!……1
1人1人みんなが南風原の主人公です!

はえばるのまつり……7
人が集い、祝い喜ぶ。団結心のある町。

わった～自慢のまち
◎実感・わたしたちのまち紹介……11
◎目指します、暮らしやすい町づくり……15
◎三大構想【第3次南風原町総合計画】……17
◎南風原町19の行政区紹介……19

Town Map【はえばる 東西南北】……23

琉球絣 経済大臣指定 伝統工芸品【かすりの里 南風原町】……25

わった～まちの１番もの……27
南風原には沖縄 No1、日本 No1がいっぱい!

南風原町の特産品……29

南風原町の伝統芸能……30
先祖代々伝えられてきた、貴重な伝統芸能

南風原町の文化財……31
後世に守り伝えていく、数多くの文化財

沖縄戦【南風原町の戦跡】……33
沖縄戦における南風原町・沖縄戦の証言

はえばる豆知識……36

先駆者……37
南風原町が誇る先人達（飛び安里、金城哲夫、etc）

とんち話……39

行政・議会……41

資料編 DATE……44
（土地・気候・人口・財政、歴代四役・歴代議長・副議長、町歌、町民音頭
南風原のあゆみ、テレホンガイド、機構図、目で見る南風原）



◎町の花：ブーゲンビレア
（昭和57年12月25日告示）



◎町の木：リュウキュウコクタン
（昭和57年12月25日告示）

発刊にあたって

南風原町長 **城間俊安**

南風原町には、豊かな実りと繁栄をもたらす南風が豊かに流れています。それは、穏やかな起伏をもって広がる農地に豊穣をもたらし、さらに集落では豊かなコミュニティーと伝統を育んできました。

南風原町は、昔から交通の要衝としての役割を果たしてきましたが、都市化の進展にともない、生活利便性の高い町として発展し続けています。また現在でも国・県の高規格道路の整備が進んでおり、交通の利便性向上とともに新たな産業の振興・誘致を推進し、さらに「子どもたちに愛」「若者に夢と希望」「お年寄りに安らぎ」のひびきあう町、平和で豊かさの実感できるまちづくりの実現に向けて積極的に取り組んでいます。

地方の時代といわれる21世紀、住民の種々のニーズを的確に捉え、国際社会の変貌、住民の価値観の多様化、少子高齢化や情報化の急速な進展に的確に対応し、町民福祉の向上を図り、平和行政の推進、文化・教育の推進、経済の活性化、地域情報化など、私たち南風原町をもっと住みよい町にするために、「平和」「自立」「共生」を基調に、第四次総合計画で標榜する「ともにつくる黄金南風の平和郷」を実現するため、町民と行政が手を携えながら、個性と豊かで魅力のあるまちづくりを進めていきます。

このたび発刊いたしました町勢要覧が多くの方々の目にとまり、南風原町のまちづくりの概要がご理解いただければ幸いです。

A Message from the Mayor

Mayor of Haebaru Town **Shiroma Toshiyasu**

Long-established as a vital traffic location, Haebaru Town follows the progress of urbanization, keeping in mind the development of a town highly convenient to live in. Furthermore, with actual national and prefectural high-standard road adjustments progressing, the infrastructural convenience realized by this is propelling business promotion and attraction. Appealing as a town of Love for Children, Dreams and Hopes for Youth and Peace of Mind for the Elderly, we are positively striving to building a peaceful, truly pleasant municipality.

With Peace, Development and Cooperation as mottos, we are working to make Haebaru Town a better place to live. Advancing towards the completion of a town of peace blown by prosperous southern winds, Haebaru, as advocated in the 3rd Town Master Plan, we are, hand-in hand with our citizens, moving forward the realization of a charming, bountiful community rich in individuality.



HEROES

Haebar u Town

わったーみん なヒーローズ!

HEROES





One by one, all protagonists of Haebaru Town!

1人1人みんなが南風原町の主人公です。

ごらんください!イキイキとしたみんなの笑顔を!やさしさと楽しさと誇りに満ちた未来を創造する南風原町民のみなさんです!若い力のヒーロー、ヒロインから戦後の復興に努力してきたベテランのヒーローズまで南風原町はヒーローがいっぱい生まれる町です!



Energy

元気!

元気の源は、
ひとりひとりの情熱です。





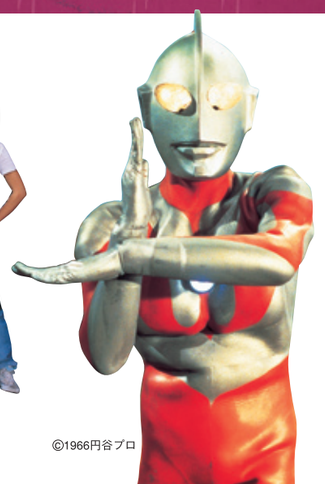




Look at these vivid smiles! They are the citizens of Haebaru Town creating a future filled with kindness, happiness and pride together! From the young all the way to aged veterans who endeavored to rebuild Okinawa after the war, Haebaru is a town that gives birth to many heroes.







©1966円谷プロ

Profit

潤い!

自然との調和が
潤いを生みます。



























Vigor 活気!

笑顔が笑顔を呼んで
活気が溢れます。






Tradition 伝統!

守り、育て、
創る伝統があります。
















まつり

わった〜 みんな ヒーローズ

はえばるの Festival

人が集い、祝い喜ぶ。団結心のある町。

南風原町には先人たちから引き継がれてきた民俗文化が数多くあります。伝統の獅子舞、勇壮な綱引き、古式ゆかしい芸能など、南風原町を民俗芸能豊かなまちとして内外にアピールしています。こうした民俗文化に加えて、ふるさと博覧会、福祉まつりも定期的に開催。「人が集い、祝い喜ぶ。団結心のある町」を目指しています。





全国へデビュー
スッパイマン



地域限定ヒーロー
黄金戦隊
かぼっちゃマン



津嘉山の大綱引き



福祉まつり



太鼓フェスティバル



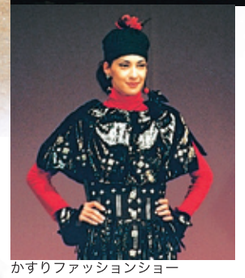
かすり駅伝大会



新春演芸会



ジャズインハエバル



かすりファッションショー



陸上競技大会



FM16スイングジャズオーケストラ

People gathering for the sheer pleasure of celebrations - a town of cooperative spirit

Haebaru Town is rich in traditional culture passed down by our predecessors. With traditional lion dance, soul-stirring tug-of-war and old style admirable entertainment amongst many others, Haebaru is appealing as a town of a bountiful folklore culture that also holds from time to time hometown exhibitions and welfare festivals. Our city is widely appealing as a place where "people gather for the sheer pleasure of festivities."

南風原町の年間行事

1月
新春マラソン大会
新春演芸会
成人式

2月
ウチナーグチ大会
囲碁将棋大会
ジャズインハエバル

3月
公民館まつり
トリプルはたち成人式
清明祭（旧暦）

4月
町政施行記念式典

5月
ウォークラリー大会
5月ウマチー（旧暦）

6月
綱引き（旧暦）

7月
少年の主張大会
盆（旧暦）

8月
十五夜あしび（旧暦）

9月
陸上競技大会
敬老会

10月
町民スポーツカーニバル
老人・女性大運動会

11月
かすり駅伝大会
ふるさと博覧会
福祉まつり（隔年）

12月
年代別スポーツ大会

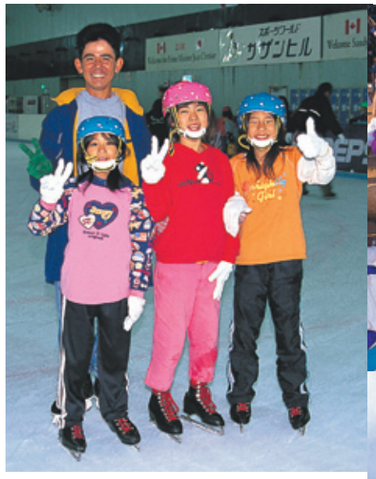
「わったあ～町は
じょうとうど～」

わった～自慢のまち

Haebaru Town

A town enlivened by affluence and tradition

Haebaru Town, following the progression of urbanization, aims at making the best of its geographical advantages by attracting new businesses and industries while still developing as a convenient and charming garden city. Attracted by these charms, new residents gathered to give birth to a new community and lifestyle, with the aim of Haebaru Town being built as a hometown rich in enjoyment and peacefulness. Today, improving its function as a traffic crossroads, Haebaru is foreseeing new opportunities. Furthermore, as we communicate with the world as a contribution to peace, we send messages from our peace loving hearts that were fostered through our long history. Exchanging with people from cities within Japan and worldwide, we are deepening our friendships with the will of creating a peaceful community.















OUR TOWN

自然と文化が活きづく田園都市

南風原町は都市化の進展にともない、地の利を生かした新たな産業を生み出し、利便性に優れた魅力のあるまちとして発展し続けています。その魅力に惹かれて人が集まり、新たなコミュニティーと生活が生まれ、うるおいとやすらぎのある、ふるさととしての南風原町が築き上げられています。そして今日、交通の要衝としての機能を一層高め、さらなる発展の可能性をもたらしています。さらに、平和への貢献を果たしていくため、長い歴史のなかで培われてきた平和を願う心を南風にのせて発信し、国内はもとより海外の多くの都市の人々と友好を深め、共に生きる平和のまちづくりを進めていきます。

わった～自慢のまち
HAEBARU TOWN

LIFE SCENE

A CHEERFUL CITY GENTLE TO NATURE AND PEOPLE

Welfare

It is necessary to keep one's mental and physical health in order to lead a happy life. Supporting those who need medical treatment and assistance, we all should strive to promote others welfare in order to achieve our ideal town.

実感

自然と人に優しい潤いのあるまちです。





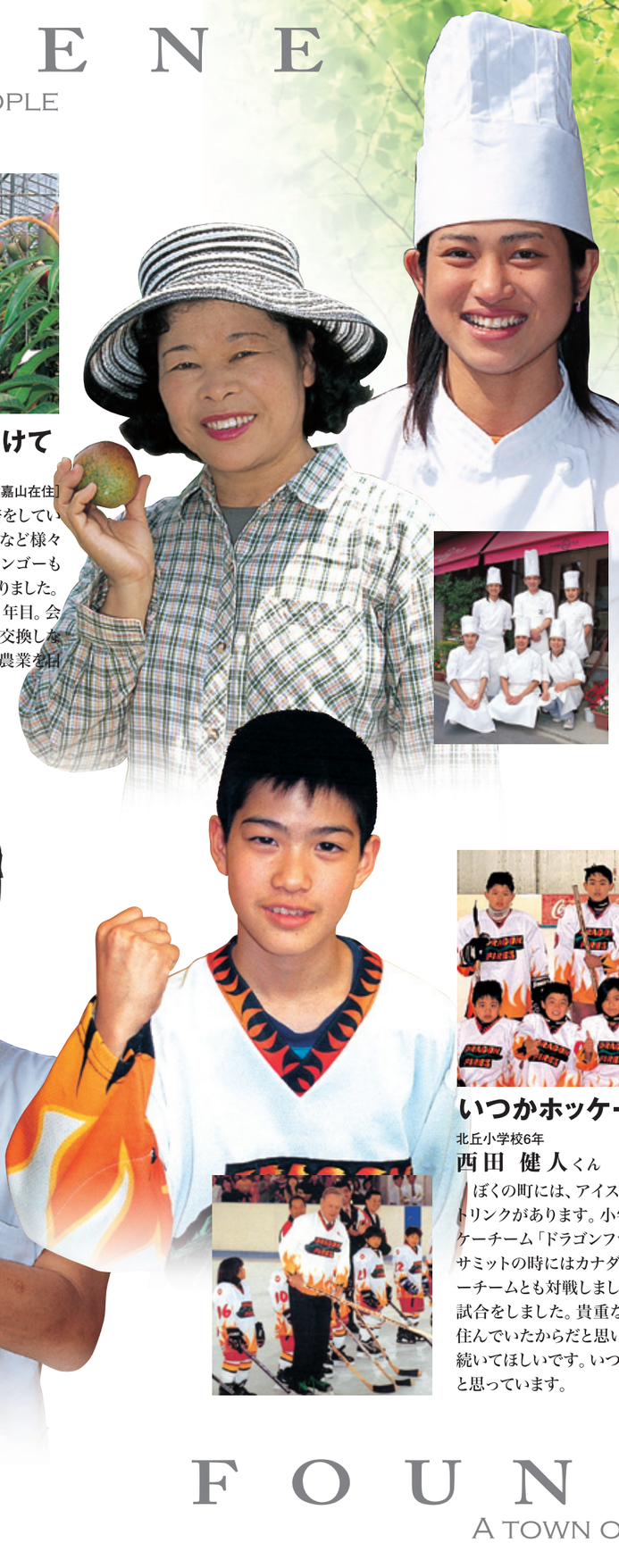


チャレンジする楽しみを見つけて

農　業

新垣 ヨシ子さん　［宇津嘉山在住］

自宅近くのビニールハウスでマンゴーの栽培をしています。これまで、カボチャ、ゴーヤー、きゅうりなど様々な作物を栽培してきました。昨年から始めたマンゴーも実を結び、今年から、ようやく出荷できるようになりました。JAおきなわ津嘉山支店の女性部長を務めて8年目。会員同士でのおしゃべりも楽しみのひとつで情報交換しながらいろいろなことにチャレンジ。明るく楽しい農業を目指して、みんなと交流しています。





かぼちゃのケーキを皆さんに!

ケーキの店DUO勤務

伊計 小百合さん　［宇津嘉山在住］

私は、津嘉山にあるケーキの店DUOで働いています。お店の人気商品といえば、やはり津嘉山ロールです。津嘉山ロールは、南風原のおいしいかぼちゃを使ったロールケーキで、生地の中にかぼちゃのピューレを混ぜて作っています。これからも、地元のおいしいかぼちゃを使ったケーキをみなさんに喜んでもらえる様に作っていきたいと思います。



実感

暮らしやすい環境のまちです。



美しい沖縄、南風原町のために!

くどう動物病院院長

工藤 俊一さん　［宇宙平在住］

美しい沖縄に来て早15年あまり。北海道からこの南風原に来ました。私の妻は、神里です。両親も札幌から呼んで、皆、家族は南風原町民です。動物病院を開院させていただき、沖縄の皆様の優しい心にいつも触れています。

おとなになっても、日々勉強をしていくことを忘れず、豊かな夢のある町とそこに育つこれからの人たちの明るい未来のため、微力ながらしっかりやっていかねばならないと思っています。





いつかホッケー留学したい。

北丘小学校6年

西田 健人くん　［宇宙平在住］

ぼくの町には、アイスホッケーの試合もできるスケートリンクがあります。小学校2年の時に少年アイスホッケーチーム「ドラゴンファイヤーズ」に入りました。沖縄サミットの時にはカナダの首相を招き、カナダのホッケーチームとも対戦しました。去年はカナダに行って親善試合をしました。貴重な体験が出来たのも、南風原に住んでいたからだと思います。ずっとカナダとの交流が続いてほしいです。いつかカナダにホッケー留学したいと思っています。



Foundation

We are promoting an advanced transportation network to meet the growing needs of residents and to promote the development of industries. Concerned with the quality of life of people residing near the main road that is Highway 58, we maintain parks and natural attractions, encouraging people to coexist with nature and providing them easily accessible opportunities for relaxation and enjoyment.

FOUNDATION

A TOWN OFFERING AN EASY TO LIVE ENVIRONMENT

わった～自慢のまち
HAEBARU TOWN

INTERCHANGE

AIMING AT BUILDING A COMMUNITY OF RESPONSIBLE PEOPLE ON A GLOBAL LEVEL

Communication

Our warmhearted ancestors prayed for peace and they passed down to us the history, culture, and key to building a sound, prosperous community. Our ancestors also taught us to dream and to put forth our best effort throughout our lives. We must respect these messages from our forefathers to preserve the peace, all the while dreaming of meeting the challenges of the 21st century, in the areas of education, sports, and culture.





地域に愛され、選ばれる介護事業所に。

指定介護保険事業所（有）はっぴー代表

親川 郁子さん　［宇宮平在住］

仕事は居宅介護支援と訪問介護があります。居宅介護支援は、利用者の立場に立ってケアプランを作成するのが主な仕事です。南風原町には、外からのサービスを受けるのに抵抗があり、家庭内で介護しているケースがまだまだあります。誰かが介護のために犠牲になる必要はないので、民生委員の方など地域の支援を受けながらネットワークづくりをしています。訪問介護は、最初に行ったときに相手が心を開いてくれることに苦心します。「ここはいいサービスをする」ことを定着させ、地域に愛され、選ばれる事業所にしていきたいです。





学校でも地域でも歓迎してくれます。

南星中学校 英語指導補助者　［カナダ出身字照屋在住］

クリス コックスさん

カナダから2002年に来ました。2カ年滞在します。

日本語を学びたかったし、日本文化に興味をもっていました。合気道も習っています。南風原町とカナダは交流があり、カナダから英語教師を招いているので、それでやって来ました。今は、生徒たちとゲームをやりながら楽しく英語を教えています。生徒は英語に対してとても積極的です。学校だけでなく、地域でも活発で、外で会っても話しかけてくれます。南風原町はコンクリートの間にも緑があってとても素晴らしい。地域の人もいい人ばかりで、みんなで歓迎してくれます。

実感

豊かな心を育てる人づくりをめざして



かけがいのない命を守りたい。

東部消防署　救急救命士

神里 昌二さん　［宇山川在住］

東部消防署で救急救命士として働いています。

趣味はスポーツ。南風原町は、黄金森陸上競技場など施設が整っているので、家族でスポーツを楽しんでやっています。

私たち救急救命士の本来の仕事は、患者さんの家族など、傍にいる人の処置のバトンをもらって、状態に適した救命処置を行い病院の医師にバトンを手渡すことです。あくまで傍にいる人が主役で私たちは脇役なのです。人の命をあずかるプレッシャーのかかる仕事ですが、それだけやりがいがあります。





実感

未来を拓く活力に満ちたまちです。

自然と調和した緑の多い南風原町。

2003年 ミス沖縄コバルトブルー　**瑞慶覧 涼子**さん

ミス沖縄に応募した動機は、沖縄は観光立県ですし、母親が観光関係の仕事をしていることもあって、沖縄の観光発展に少しでもお役に立てればと思ったからです。主な仕事は、空港や港での観光客の歓迎、県外の祭り・イベント、物産展などに派遣されて沖縄をPRすることです。

南風原町に住んで良かったと思うところは、都会過ぎず、田舎過ぎず、緑もあって便利なことです。これからもあまり都会化せずに緑豊かな風景を守りながら発展してほしいです。





Vitality

Haebaru being a center of many transportation routes, we are promoting the development of industry and the community. Areas near the expressway approaching Naha Airport, currently under construction, will be designed as a commercial area. This will attract new companies and create new jobs, but will also contribute to the development of the local agricultural business.

VITALITY

A CITY FULL OF ENERGY FACING THE FUTURE

目指します暮らしやすい 町づくり

第四次 南風原町総合計画
将来像
ともにつくる『黄金南風の平和郷』

私たちは南風原町民は、地域社会への愛着と誇りを持ち、そして自ら責任をもって暮らす住民として、「ともに」個々の思いを現し、意見を交わし、夢・目標に向かって一歩ずつ進んでいきます。さらに、恒久平和を願う南風原町の心を世界へ発信します。

そこで南風原町の将来像を「ともにつくる黄金南風の平和郷」として掲げています。



「みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち」

私たちの先人は、美しい森や川、実り多い大地、そして何より、お互いが助け合い、支え合うという協調精神や団結心を私たちに残してくれました。これは今日でも町民に受け継がれ、「地域の力」となっています。この地域の力を私たちの暮らしの中に生かし、後世の人々に引き継いでいくことが大切だと考えています。

私たちは、みんなで考え、みんなで創る協働のまちをめざします。このため、情報を共有しあい、住民と行政がお互いに理解を深め、それぞれの役割と責任で住みよいまちづくりをすすめ、新しい時代を拓いていきます。


黒砂糖づくり体験学習


親子料理教室


ひなまつりお茶会（宮平保育所）

人もまちもきらきら育つまち

まちは自然にできるものではなく、「人」と「人」のつながりの中で創られるものです。そのつながりは地域をより良くしたい、より快適に暮らしたいという、そこで生活を営む人のさまざまな思いによって育まれます。私たちは次に掲げる3つの教育、「家庭教育」、「ふるさと教育」、「学校教育」を相互に結びつけ、その関係性をつなげていくことで、「人もまちもきらきら育つまち」南風原町をめざします。


小・中学生陸上競技大会



新春飛び安里凧上げ大会


歯の健康フェアー

ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち

南風原町では、住民一人ひとりが心と身体の健康を大切にし、明るく健やかな明日への希望を持って生活するまち、それをまちづくりの基本にします。私たちは、福祉と健康のまちづくりに主体的にかかわっていくことにより年齢や性別、国籍にかかわらず、すべての住民が進んで社会参加し、介護や援助が必要な人にはその自立にむけて、地域ぐるみ町ぐるみで支援ができるまちをめざします。そして一人ひとりのしあわせのために、みんなが自分にできる活動に参画する福祉のネットワークづくりを推進します。


下水道夏休み親子体験学習





工夫と連携で産業が躍動するまち

南風原町は、農地と市街地が共存しています。その特徴を活かし、これからの産業振興において、調和の取れた農地利用や、都市基盤と地の利を活かした新たな賑わい・活力づくりなど、大きな可能性を持っています。そこで私たちは、産業の活力を、工夫と連携によって生み出される信頼と魅力で引き出し、個々の産業が自主的に力を発揮し、産・学・官・民の連携により、自立した活力と働く場をつくる「工夫と連携で産業が躍動するまち」をめざしています。

みどりとまちが調和した安心・安全なまちづくり

人は暮らしの礎に安心・安全を求め、さらに利便よく快適さのある暮らしを望んでいます。私たちは、誰もが安心で安全に暮らせるまちづくりを基本として、南風原町に残された三大森（新川森、黄金森、高津嘉山）などの貴重な自然と都市の利便性が共存し、うるおいを感じる「みどりとまちが調和した安心・安全なまち」をめざします。



環境と共生する美しく住みよいまち

私たちは心豊かな生活を営む上で、環境が重要な要素だと考えています。これまで、南風原町では住み良い生活環境の整備に取り組んできましたが、都市化の進展などに伴い、身近な日常生活の環境悪化が心配されています。さらに、地球の温暖化、オゾン層の破壊など、私たちの生活している地域を越えて地球規模での環境問題が深刻になっています。このため、私たちの身近な生活環境や地球環境を共有の財産として将来にわたって引き継いでいくために、「環境と共生する美しく住みよいまち」の創造をめざしています。

第四次 南風原町総合計画(基本構想)

南風原町の基本理念

「平和」「自立」「共生」



「平和」

私たちの祖先が平和を強く願ってきた心は、豊かなコミュニティ社会や歴史的・文化的遺産として、今日でも住民に受け継がれています。私たちはこうした資産を、暮らしのなかに活かすとともに、世界の恒久平和を願うわがまち南風原の心を、国内はもとより世界へ向けて発信し続ける、平和なまちづくりをめざします。

「自立」

豊な実りと繁栄をもたらすと云われる南風が脈々と流れる南風原は「羽衣伝説」、「飛び安里」の伝承の地です。私たちは、夢と希望をもって大空へ羽ばたくロマンとチャレンジ精神を受け継ぎ、うるおいをもたらす南風を活かして、新たな時代のなかで、自立できる活力、地域力のあるまちづくりをめざします。

「共生」

私たちの祖先は、緑豊かな丘を背に、住み心地良い暮らしや、豊穣な土地での畑づくりなど、自然と調和して暮らす知恵を築いてきました。また、人々はお互いに支えあい、団結してムラづくりをすすめてきました。まちの様相が移り変わる中で、私たちは、改めて、自然との調和、人と人とのつながりなど、色々な場面で自然や人と共生した暮らしを再生・創造していくまちづくりをめざします。

第四次総合計画(基本計画)

4大プロジェクト

(基本計画期間／平成19年度～平成23年度)

第四次総合計画は5年間の基本計画の中で、予算規模の大きい事業、また5年間で集中的に投資すべき事業、連携を図り相乗効果を生み出す事業を抽出し、全力を挙げて推進していきます。特に南風原町のシンボルである黄金森を拠点に連携して取り組む事業は、総合計画の中で「平和学習・観光・健康・交流ゾーン」として位置づけておりますので、関連課と情報の共有を図り重点施策として進めます。

黄金森公園の整備

陸上競技場や野球場などを整備し町民から親しまれている「黄金森公園の整備事業」については、スポーツ振興や健康増進拠点として、今後も整備を進めます。公園面積は現在(平成19年3月)20.5haとなっております。この場所に文化センター(仮称)を移転建築し、平和と文化の発信拠点とします。

平和・歴史文化学習、観光拠点の形成

文化センター(仮称)の移転建築と、南風原陸軍病院壕の公開により、南風原町の歴史や文化をより多くの方々に発信します。特に南風原陸軍病院壕の公開においては、地域案内人を育成しながら、町内を始め県内外の方々の平和学習の場として活用します。

また、平和学習と併せて歴史・文化学習や、伝統工芸品である琉球かすりの工房を訪ねるなど、地域資源を活かした観光などにも力を入れます。

総合保健福祉センターの整備

乳幼児からお年寄りまで全ての町民の健康づくりの拠点として、健康相談、健康教育、健康診査など保健活動が総合的に行えるよう、また多くの住民が参加や参画し、共に支え合う活動の場となるように、地域福祉の拠点として総合保健福祉センターの整備を進めます。また、この施設は災害時に避難所として利用できる防災の拠点としての機能も持ちます。

津嘉山北土地区画整理事業の推進

津嘉山北土地区画整理事業については、うるおいのある良好な居住環境の形成と、にぎわいと活力のある良好な商業地の形成を図ることを目的として整備を進めています。それにより、安全で快適な利便性のある都市空間を創り出します。

19 南風原町の行政区紹介

19 WARDS OF HAEBARU TOWN









各行政地区の名所、サークル等を紹介します。

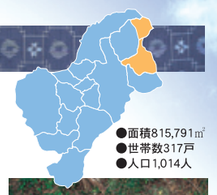
南風原町には、現在、19の行政区があります。それぞれの公民館や集会所を拠点に、活発な地域活動が展開されています。

運動会や祭り、共同作業などの行事を通して、親睦と団結をはかり、誇りを守り育てているのです。ここでは、それぞれの自慢をとりあげてみました。



宮城 Miyagusuku





●面積815,791㎡
●世帯数317戸
●人口1,014人



御宿井（ウスクガー）

御宿井と羽衣伝説

字の東方に御宿井（ウスクガー）という井戸があり、「羽衣伝説」が残っている。昔、大国大主という農夫がいた。ある日、井戸の側を通ると、美しい天女（御殿の姫）が水浴しており、そばの木の枝に羽衣がかけてあった。大主はその羽衣を家に持ち帰った。そこで天女は天（御殿）に帰れず、大主の求めるままに結婚し、子どももできた。しかし、数年たってから、天女はかくしてあった羽衣を見つけ、泣き叫ぶ子を残して、天に帰ってしまった。

大名 Oona





●面積507,313㎡
●世帯数317戸
●人口927人



大名ヒージャガー

ヒーシャーガー

井の側にある石碑によると、井の前の道路が雨天時に往来が難渋するので1769年に改修し、桶川を築かせたという。また、王妃が久高島に向かう途中休息して水を求めたところ、美味の湧水があったのでこれを賞賛して碑を建てさせたという伝承もある。

戦前までは周辺住民の大切な生活用水だったが、現在はあまり利用されなくなった。それでも、旧９月９日のウマチーの後には区民全員で御願をする心のよりどころになっている。

北丘ハイツ Kitaoka Heights





●世帯数136戸
●人口454人



若獅子会のメンバー

若獅子会

「若獅子会」というのがある。これは自治会の役員を終えたOBたちや有志たちが「北丘をよくしていこう」と模合を中心に集まった会だ。15年も続いており、現在メンバーは約30名いる。同会の模合情報誌は110号まで発行している。（現在は休刊中）

また、同会が結成の頃植えた桜、桃、ツワブキ、ユリなどの花木が、季節になると美しく咲き、住民の目を楽しませている。

新川 Arakawa





●面積1,169,941㎡
●世帯数797戸
●人口1,961人



縦断駅伝大会（奥で）

奥-新川縦断駅伝

沖縄本島の北の端・奥から新川までの縦断駅伝が17回を迎えた。毎年１月中旬に行われており、子どもからお年寄りまで80～100名も参加する。もともと区のマラソン好きが集まって始めた行事。年々参加者が増え、区民の親睦を深める一大行事となっている。

駅伝終了後は公民館で慰労会が開かれ、お互いの健闘をたたえあい、さらに親睦を深めあっている。

与那覇 Yonaha





●面積441,612㎡
●世帯数775戸
●人口2,304人



ウサン嶽

浦島太郎伝説

ここには沖縄には珍しい浦島太郎伝説が残っている。昔々、白髪で白ひげの杖をついた老人がやって来た。老人は自分の家もわからないので、部落民はちょっと頭がおかしいのではと思っていた。ある日、老人がウサン嶽に登った。２～３日しても戻って来ないので部落民が行ってみると、杖だけ残して老人はいなくなっていた。それで神様だったんだとわかり、部落民で墓を造った。今でもウサンシーの墓と呼ばれ、大切な御願所のひとつになっている。

東新川 Higashi Arakawa





●世帯数70戸
●人口172人



地域清掃会

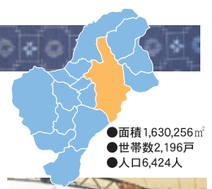
まちづくり委員会

東新川は小さな区だが、自分たちの力でいいまちにしていこうと「まちづくり委員会」を1999年に発足した。委員会では去年、まちづくりの参考にするため、宜野座村の産業・施設・祭りなどを視察した。また定期的に勉強会も開いている。

まちづくり委員会と自治会が一緒になって行っている地域清掃会はもう15年くらい続いており、子どもからお年寄りまで延べ約30名が毎年参加している。清掃会の後には学児奨励会も行い、子どもたちに喜ばれている。

宮平 Miyahira





●面積1,630,256㎡
●世帯数2,196戸
●人口6,424人



宮平の獅子舞（六尺）

獅子舞

宮平の初代の獅子は首里王府から拝領したものと伝えられているが、年代もはっきりせず、今次大戦で行方不明になった。現在の獅子はハワイの宮平出身者の有志によって、1950年に奇贈されたものである。舞方には７種あり、特に「猿手」「カクジシリ」は、見ごたえがあり、他には類をみない。毎年八月十五夜の村遊びで演じられるほか、近年は県内各地のまつりに出演し、宮平の獅子舞に対する評価はますます高まってきた。

宮平ハイツ Miyahira Heights





●世帯数110戸
●人口420人



子供夏まつり

子ども夏まつり

宮平ハイツでは毎年夏休みに「子ども夏まつり」を開催している。子どもから大人まで一緒にエイサーを演じ、みんなで楽しむ。住民の約80％、300人ほどが参加する大きなイベントだ。午後6時から8時までは子ども中心の時間、それ以後10時までは大人たちの親睦の時間となる。

ハイツでは毎年12月中旬の土曜日にクリスマスパーティも催している。これも子どもたちがほとんど参加する楽しい行事になっている。

兼城 Kanagusuku





●面積910,083㎡
●世帯数1,636戸
●人口4,933人



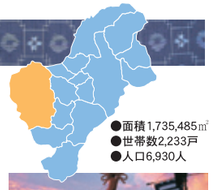
兼城の舞方棒

舞方棒

兼城の舞方棒は、八月十五夜の村遊びを通して先祖代々受け継がれてきたものである。棒には「梶の手」「津堅手」の二つの型があり、「大遊び」の時は、邪気はらい・舞台清めとして、開幕・中踊・閉幕の３回演じられたが、この二つは常に対にして踊られるという特徴を持っている。技は前半は一般的な手で、後半に実践棒術を踊りにしたような特徴のある技が見られる。また、後退するときの足を力強く踏みならすところなどは、古式を思わせる。

津嘉山 Tsukazan





●面積1,735,485㎡
●世帯数2,233戸
●人口6,930人



津嘉山の綱曳き

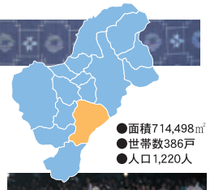
綱曳き

津嘉山の綱曳きは、中国から綱曳きをならってきた南山王が、当時最も田の多かった津嘉山に伝えたといわれている。以来、毎年旧６月26日に行なわれ、戦前、稲作がさかんな頃は、７年ごとに大綱曳き（旧６月18日）をする例になっていた。

区民は綱曳きの数カ月前から準備を始め、当日は男たちは手に六尺棒を持ち、女たちは鼓を打ち鳴しながら、綱曳き歌をあきることなく繰り返す一勇壮な行事が繰り広げられる。

喜屋武 Kyan





●面積714,498㎡
●世帯数386戸
●人口1,220人



喜屋武の綱曳き

綱引き

旧６月25、26日に行なわれる喜屋武の綱引きは、まさに真剣勝負！　そのため「けんか綱引き」の名で知られている。当日の準備は午後10時ごろになってからで、県内では珍しい深夜の綱引きだ。銅鑼や太鼓が鳴り響くなか、「サアーイ！」「サアーイ！」のかけ声にあわせ、老いも若きも無我夢中で綱を引く。綱を引き終わるまでけんか状態の両陣営も、終わる頃には、区民としての団結心が固まり、綱引きを称賛する声に変わってゆく。

兼本ハイツ Kanemoto Heights





●世帯数251戸
●人口712人



兼本ハイツ三味線愛好会

三線愛好会

兼本ハイツ三線愛好会（会長・糸数直一）は、平成９年に結成され、現在12名の会員がいる。毎週日曜日に集会所で練習して腕をみがいている。同愛好会は毎年、自治会の新年会、敬老会、夏まつりに出演し、喜ばれている。また、町のフェスティバルに出演した実績もある。

兼本ハイツには他にも囲碁、ゴルフ、グランドゴルフ、ゲートボールなど10くらいの同好会があり、それぞれ活発に活動している。

第2団地 Second Housing Complex





●世帯数323戸
●人口1,007人



卓球同好会の皆さん

卓球同好会

卓球同好会（会長・赤井清）は、３年前に発足。現在団地以外のメンバーも加えて８名くらいで、毎週金曜日に健康と親睦をかねて卓球に汗を流している。

卓球といえば、自治会では毎年春休み卓球大会を催している。これは各棟代表（小学生１名、中学生１名、高校生以上男女１名ずつ、一般１名の５名）の競技で、子どもたちの健全育成もかねて行われている。

慶原 Kebaru





●世帯数20戸
●人口86人



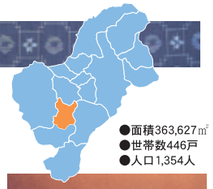
南風原入り口へと続く沖縄自動車道

沖縄自動車道

慶原は廃落置県後に誕生した首里の士族の屋取部落で、比較的歴史の新しい小さな区だ。その落ちついた区に変化が起きた。沖縄自動車道の南風原入口ができ、区が2つに分断されたのだ。町の発展の象徴でもある自動車道だが、その建設でケバルムイもそこにあったガジュマルの大木もなくなったことを、区民は少し残念がっている。しかし、自動車道は区が大きく変わっていく発端であることはまちがいない。

照屋 Teruya





●面積363,627㎡
●世帯数446戸
●人口1,354人



舞方棒（アブシの手）

舞方棒（アブシの手）

照屋の舞方棒には「アブシの手」と「北谷の手」の二つの型があった。近年は「アブシの手」だけが年中行事と慶祝の場や舞台で演じられている。

「アブシの手」は、十文字に動く型で、大きな変化や特技はみせず、打ち・受け・突きを主とした均整のとれたスマートな舞で、技と動きを極力きりつめて演じる特徴を持つ。「アブシ」とは、田畑の畦のことで、老師匠たちは、畦の交差点で動作する気持ちで演じるように教えたという。

第１団地 First Housing Complex





●世帯数238戸
●人口728人



つつじ祭りへピクニック

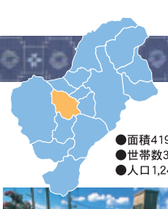
ピクニック（つつじまつり）

第一団地では2～３年に一回ピクニックを開催しているが、今年（2003年）は3月23日に東村のつつじ祭り見学に行った。子供からご年配まで総勢78名が参加。満開のつつじを楽しんだ。また、国天然記念物の慶佐次湾のヒルギ林も見学した。

団地の他の行事には2年に一回の「歩け歩け大会」や夏恒例の「盆踊り」、また「新１年生激励会」や「中学3年生を送る会」などがある。

本部 Motobu





●面積419,866㎡
●世帯数388戸
●人口1,244人



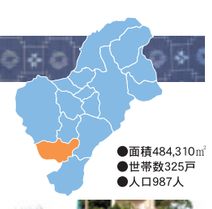
かすりの道

絣ロード

本部は喜屋武、照屋と並んで昔から絣の名産地として知られている。この３字には、平成４年に完成した絣ロードと呼ばれる美しく舗装された道がある。道を歩くと、どこからともなく「シャーラ　トントン」と絣を織るなつかしい音が聞こえてくる。本部の絣ロード沿いには、絣にかかわる世帯が23世帯あり、昔ながらの技法を守っている。また、かすり会館や織物工房もあり、伝統工芸の明日を担う後継者も育てている。

山川 Yamagawa





●面積484,310㎡
●世帯数325戸
●人口987人



グランドゴルフ愛好会の皆さん

グランドゴルフ愛好会

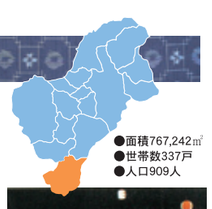
山川グランド愛好会は、老人会が中心になって2002年11月に結成された。会員は約20名で毎月第三土曜日に山川体育センターで連習に励んでいる。

山川にはその他に、琉舞愛好会、ひまわり会（琉舞、民謡）など定期的に活動している愛好会がいくつかある。

主な行事は１月のスポーツ新春大会（グランドゴルフ）、７月の綱引き、８月の納涼まつり、11月の区民運動会、12月の農業まつりがある。

神里 Kamizato





●面積767,242㎡
●世帯数337戸
●人口909人



青年会エイサーの皆さん

青年会エイサー

神里のエイサーの歴史はそう古くはない。約20年前に玉城村奥武島から教わったものだ。だが、青年部に一部高校生も加わった25名の団員の活動は活発だ。

主な舞台は、旧盆ウークイの道ズネー。その日のために３ヶ月も前から、毎日練習が続けられる。その他町の「ふるさと祭り」や「芸能まつり」など、また本土でも演じた。その迫力ある演舞で好評を博している。

はえばる 東西南北 Town Map

風土と歴史、協調性と団結心が今も受け継がれている町。

A town of great natural features and history,
where the spirit of cooperation is strongly preserved.





❶ 南風原町役場

41P関連内容

南風原町を訪れた際はどうぞお気軽にお寄りください。心を込め、ご案内いたします。

Haebaru Town Hall

Why not visit our town hall when passing through Haebaru Town? You are always welcome.



❷ ショッピングエリア

いろんなショップが立ち並ぶ通りはバラエティ豊かで魅力的です。

Shopping Area

Our streets filled with shops and stores offer variety and charms to all.









❼ スポーツワールドサザンヒル

県内唯一のアイススケートリンクがある施設。ウィンタースポーツが楽しめるスポットとして大人気です。

Sports World Southern Hill

Okinawa's unique and popular ice-skating rink is located in Haebaru Town, allowing anyone to enjoy winter sports.















南風原町の農家

生産日本一のへちまやストレリチア、生産沖縄一のかぼちゃなど、県内でも良質な作物を生産しております。

Farmers of Haebaru Town

Haebaru is Japan's number one producer of gourd and Bird of Paradise flowers and Okinawa's leading producer of pumpkin, among others. Haebaru is known as a producer of quality farm products.





❸ 飛び安里記念碑

37P関連内容

「200年前に世界で初めて空を飛んだ男」といわれる飛び安里の記念碑。小高い丘の上にのぼれば当時の飛行風景がイメージできます。

The Tobi Asato Monument

This monument is dedicated to Tobi Asato, said to be the world's first man to have ever flown, 200 years ago. Located on a slightly elevated hill, the monument is an image of the flight at that time.

南風原町の文化財

石獅子（有形文化財）や摩文仁家の墓（指定文化財）など数々の文化財が南風原町には残っております。

31P関連内容





Cultural Properties of Haebaru Town

Haebaru Town has numerous cultural assets, among which are a stone lion-dog (Tangible Cultural Property) and the Mabuni family tomb (Designated Cultural Property).



❽ 世界一の21連アーチ

沖縄自動車道と那覇空港を結ぶ那覇空港自動車道、南風原区間（5.9ｋｍ）にかかる世界一の21連アーチです。

Unique 21-arch Bridge

Linking the Okinawa Expressway and Naha Airport is the Naha Airport Expressway. The Haebaru section is 5.9 km long and features a unique bridge with 21 arches.

❻ 黄金森陸上競技場

平成13年に開設され、広く利用されております。 また、周囲に広がる緑豊かな風景は練習後の疲れを癒してくれます。

Koganemori Athletic Field

Built in 0000 it is presently widely utilized, while the surrounding rural scenery is ideal for recovering after physical exercise.







❺ 琉球かすり会館

25P関連内容

昭和55年に開設された「琉球かすり会館」は、原料糸、染料、織物機材の共同購入、共同販売、後継者の育成、技術研修などの事業を行っております。また、会館近辺は「かすりロード」と呼ばれ「シャーラ トントン」と機の音が響きわたり風情があります。



The Hall of Ryukyu Kasuri

Built in 1980, the Hall of Ryukyu Kasuri offers the necessary material for weaving such as thread, dyes and fabric implements. It also has goods for retail, promotes the education of successor artists, and offers technical training programs. Also, don't miss the elegant "Kasuri Road" close to the hall.

❹ 町立南風原文化センター

町民はもちろん、県・国内外からも年間2万人の方々が訪れ文化創造・交流の場として活用されております。

30～36P関連内容

Haebaru Town Cultural Center

Visited by more than 20,000 people from both Haebaru and outside, this center is a place for exchange and culture.









